

# KAVC CINEMA

## 「泳ぎすぎた夜」

これは、とても小さな、新しい冒険の始まり。

日仏の若手新鋭監督による文化、国籍、年代を超えた瑞々しい野心作

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より、当センターのご利用および企画運営にご理解、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

この度、KAVC CINEMAにて「泳ぎすぎた夜」を上映する運びとなりました。

本作品は、国も言葉も異なる二人の若き新鋭監督、ダミアン・マニヴェル（『若き詩人』）と五十嵐耕平（『息を殺して』）が、共に魅せられた美しい原風景のような冬の青森を舞台に、共同監督作品として企画し、青森で生まれ育った人々と限られたスタッフによって作られた本作は、大人になるにつれて失っていく、子どもだけが持っている、ある種、動物的ともいえる豊かな感覚、そこに流れる無限に近い時間を取り戻させてくれる、瑞々しい野心作になります。

つきましては、本作をぜひ貴社媒体にてご紹介頂きたく、ご掲載のご検討を頂けますようお願い申し上げます。何卒宜しくお願い致します。

あらすじ:雪で覆われた青森の山あいにある小さな町。夜明け前、しんと雪が降り積もり、寝静まった家々はひっそりと暗い。漁業市場で働いている父親は、そんな時刻にひとり目覚め家族を起こさないように、静かに仕事に行く準備を始める。出掛ける前には、それが毎日の日課というように台所でゆっくりと煙草をふかす。しかし、なぜだかこの日に限って、その物音で目を覚ました6歳の息子。父親が出て行ったあと、彼はクレヨンで魚の絵を描く。そして翌日。結局寝ることができず、うつらうつらしたままの少年は眠い目を擦りながら歯磨きをして、家族と朝食をとり、学校に出かける。だが、登校途中に彼は、学校には向かわず、雪に埋もれた道なき道をさまよいはじめ。父親に、このぼくの書いた絵を届けに行こう、そう思ったのか、父親が働く市場を目指す。この日、少年にとっての新しい冒険が始まる。

臍気な記憶を頼りに、手袋を落っことし、眠い目を擦りながら。

「泳ぎすぎた夜」(2017年/フランス、日本/79分)

配給: コピアポア・フィルム、NOBO

監督: 五十嵐耕平、ダミアン・マニヴェル

出演: 古川鳳羅、古川瑩姫、古川知里、古川孝、工藤雄志

上映期間: ※火休

6.9 (土) -10 (日) 10:30

11 (月)、13 (水) -14 (木) 17:10、15 (金) 10:30

6.16 (土) -17 (日) 12:50、

18 (月)、20 (水) -21 (木) 19:55、22 (金) 12:50

料金: 一般1700円、学生1400円、シニア1100円

※かぶっクラブ会員割引、障がい者割引適用あり



(C)2017 MLD Films / NOBO LLC / SHELLAC SUD

会場・お問合せ: 神戸アートビレッジセンター (担当 大泉)

〒652-0811 神戸市兵庫区新開地 5-3-14 TEL 078-512-5500 FAX 078-512-5356